

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY  
名古屋  
ちくさ  
題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 名古屋東急ホテル  
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
会長 谷口 優  
幹事 竹内 克豊  
広報・会報委員長 池森 由幸

No. 31 奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

2012~2013年度 RI会長 田中 作次

今日の例会  
第1448回 平成25年 3月 19日 (火)  
講演 “心を伝えるコミュニケーション術”  
NPO 法人「日本語しこば協会」  
認定講師 光本 眞理様

先週の例会  
第1447回 平成25年 3月 12日 (火) 晴  
桜花学園 IAC 卒業挨拶  
米山奨学生 張 詩玉さん送別

- ◆それでこそロータリー
- ◆四つのテスト
- ◆ビジター紹介 3名
- ◆ゲスト紹介 桜花学園インターアクトクラブ  
顧問 河合 保昌先生  
卒業生 村田 桃子さん  
卒業生 家田 真希さん  
米山奨学生 張 詩玉さん
- ◆出席報告  
会員 36 (31) 名 出席 26 名  
出席率 83.87 %  
前々回 2/26 (修正出席率) 96.67 %

## 竹内幹事報告

- 1) 次週例会終了後、理事役員会を開催致します。  
理事役員の方々はお残り下さい

## ◆鈴木聖三 米山奨学生カウンセラー感謝状授与



## ◆萩原会長エレクトよりお便り紹介

2001~2004 年度ロータリー財団奨学生  
馬場 今日子さんからのお手紙です



萩原さま

余寒 お見舞い申し上げます。

いつまでも寒い日が続いていますが、お元気でお過ごしでしょうか。

今年は余裕がなくて 変な時期に お便りする事をお許しく下さい。

昨年 私は 准教授に昇進し、また、正式に 大学院の教員を 兼任することになりました。

萩原さんをはじめ ロータリーの皆様には ずっと励ましをいただき ここまで何とか たどり着けましたことを 心から 感謝申し上げます。

またロータリーで お目にかかり いろいろ 萩原さんとお話したいです。

寒暖の差が 大きくなる季節になりますので、どうぞ よくご自愛下さい。

2013年2月  
馬場 今日子

## 谷口会長挨拶

### インターアクトクラブの提唱について

我々ロータリークラブは、より良い社会を作るため、将来社会を担う世代の育成も重大な使命となっています。それが五大奉仕の一つである新世代奉仕であります。その中には、ローターアクト、インターアクト、青少年交換留学生のプログラムがあります。インターアクトは、インターナショナル・アクションの略だそうです。

インターアクト、ローターアクトは ロータリークラブと似通った活動をされており、地区におけるインターアクト、ローターアクトの年次大会、この大会では、インターアクトは16クラブが活動報告をされ、それは各クラブへの発奮材料ともなっています。

その他の活動としてインターアクトクラブ通しの相互交流、独自の奉仕活動(例えば、切手集め、保育園訪問、

手話学習、桜花学園では恋の三社めぐり)を行っておられます。我々の活動と異なるのは、海外研修が行われるというプログラムが含まれていることです。

これは若いうちから海外のロータリアンなどとの接触を持ち、より広い視野を持って頂くためです。

今年のインターアクトクラブを卒業された桜花学園の2人の方がご挨拶に来て下さいました。この方々が名城ローターアクトクラブに入会されるなら一番いいことですが、それぞれの考え方がるので、そのようには参らないところがあります。

今後出来ればインターアクトクラブとローターアクトクラブが相互交流の機会を持ち合えば、相互の距離も縮まり、ロータリーを基点としたまとまりが生まれると思うところ です。

一度、世代が異なる3クラブが一堂に会する合同例会ができればと思います。

### ◆桜花学園インターアクトクラブ卒業挨拶

卒業生 家田 真希 (いへだ まき) さん



一番印象に残っているボランティア活動は、保育園のボランティアです。私の母が保育士であり、私も少し興味を持っていました。

小さい子供の面倒をみるのは初めてで、どう接しているかわからなかったのですが、子供のほうから近寄って来てくれた時はとてもうれしかったです。

子供二人を同時に抱っこした時は、翌日両腕が筋肉痛になりとても大変でした。

夏にボランティアに行ったのでプールがあり水遊びをすると、水が怖い子供もいて、泣き顔がともかわいかったです。お昼寝の時間では、寝つきの悪い子を寝かせるのは大変でしたが、とても楽しかったです。

この様な経験ができ IAC に入りよかったですと思っています。3年間ありがとうございました。

卒業生 村田 桃子 (むらた ももこ) さん



3年間の高校生活を振り返ってみると、思い出すのは IAC の思い出ばかりでした。その思い出の中には楽しかったこと、辛かったこと、悲しかったこと、おもしろかったことなど様々な思い出がありますが、こんなにたくさんの思い出が出来、私の高校生活が充実していたと

思えたのも IAC のお陰だと思います。

IAC の活動の中でたくさんのことを学ぶことができました。ボランティアをすることの大変さ、喜んでもらえることのうれしさ、みんなをまとめる事の難しさ、そして何より仲間の存在がどれほど大きなものかとてもよくわかりました。

私が一番仲間の存在が大きいかを感じたのが、2年生の夏、先輩が引退すると同時にまかされた会長になった時でした。それまでは先輩にたよってばかりだった私が今度は部活を引っ張っていかなくてははいけませんでした。どうしたらいいのかわからず、毎日のように悩んで、部活を辞めたいと思っていました。そんな時に、やはり私を支えてくれたのは部活の仲間でした。

メールでアドバイスをくれた先輩方、困っているとすぐに気がついて声を掛けてくれた後輩達、そしてたくさんの悩みや話をきいて一番近くで私を支えてくれた友達。こんな素敵な仲間に出会えたのも IAC だったからだと思います。会長を務めたことも自分自身が大きく成長することができたと思うので本当によかったです。

IAC で過ごした日々は本当に良い思い出です。

最後に IAC を支えてくれた河合先生、そしていつも IAC を御支援下さっている RC の皆様、本当にありがとうございました。



卒業おめでとう！

### 3分間スピーチ

鈴木 聖三君

米山奨学生 張 詩玉 (ちょう しぎょく) さん



国際奉仕委員長カウンセラーの鈴木 聖三です。

本日は張 詩玉さんのお別れの卓話の日になっています。この機会に張さんにお聞きしたいことを質問致しますので、是非皆さんにもご理解を御願ひします。

張 詩玉さんは、日本語学校1年、中部大学学部に4年、大学院に2年通学されました。そして無事、経営情報研究科博士前期課程を卒業されました。

そこで質問です。

1、中国の高校卒業と同時に、何故他国でなく日本の名古屋、そして中部大学を選ばれましたか。

高校で日本人の先生がいて、日本語を勉強するチャンスがあり、日本文化に対して深い興味を持ちました。高校を卒業したら日本に留学することを決めました。そして中部大学の経営情報学部を選んだ理由は将来、経営者になりたいと思っていて、経営の知識を身につけたいからです。中部大学は自然に囲まれていて、設備も整っていて雰囲気もとてもいいです。また幅広く自分の好きな授業を受けることができることも魅力でした。

2、張さんから見て、日本はどのような国に映っていますか。

日本は美しい国だと思います。日本は多くの川と、四方を囲む海から天然資源に恵まれた島国です。私は日本の歴史や文化が好きで、特に着物と茶道に興味があります。着物は成人式のお祝い会できることが出来ましたし、茶道は大学のお祭りで体験する事が出来、とても嬉しかったです。又、日本人のおもてなしの心や礼儀正しさを感じ、その精神を学ぶことができました。

3、日本人並びに日本の学生は張さんからみて、どのような印象がありますか。

日本人、特に同じ大学の人は、留学生や外国人の生徒に対してとても優しいです。日本人の生徒達から積極的に話しかけてくれるのでとてもうれしかったです。

4、これから帰国されて、どのような人生を過ごそうと考えていますか。

経営者になりたいという夢を忘れずに勇気を出して前向きに生きたいと思います。6月に結婚をしますが、中国に帰ったら新しい家族をつくり、旦那さんを助けて自分の店をよりよい店につくりたいと思います。家族の世話をしながら自分の夢を忘れず頑張りたいと思います。

最後に私に御支援下さった千種ロータリークラブの皆様にご挨拶申し上げます。本当にありがとうございました。千種ロータリークラブの皆様と出会ったことは私の人生の中で願ってもない幸せな事でした。カウンセラーの鈴木様は、父親の様に私のことを大切に可愛がってくれ、家族の愛を再び感じました。本当にありがとうございました。

最後に、張 詩玉さんが帰国されて、青春時代を過ごした日本をよく理解され、固い絆で友好の掛け橋になってくれるよう特に要望して3分間スピーチとします。

米山奨学生 張 詩玉さんの卒業レポートより



ご支援を賜りましてありがとうございます。お陰様で大学院生として学業に専念する事ができました。本当に感謝しています。

ロータリーのおかげで、日本社会・文化を理解する機会も増えました。また、それを通して様々なことを考える貴重な経験を得させて頂きました。

千種ロータリークラブの皆様と出会ったことは、私の人生の中で、願ってもない幸せなことでした。毎月の例会にお招き頂いた時、わざわざ車で千種駅まで送って頂いた時、毎回何かとほめて頂いた時、毎回頑張りなさいと言って頂いた時、皆様の愛を感じました。皆様の笑顔と親しい言葉は留学生の私の心を暖かくしました。'

実家の生活が厳しくてちょうど学業を廃棄しようとしていた折りに皆さんが暖かい手を差し伸べて私を再び学生生活に戻してくださいました。

もし、皆さんの助けがなかったならばおそらく今日の私はなかったでしょう。ロータリーのおかげで、大学院生として修士論文を完成させ、日本で7年間の学業を無事終了できました。

修士論文は「松下電器産業（現パナソニック）の事業と経営体制の発展に関する研究」であり、このサブタイトルは「創業者の経営理念と企業文化の視点から」というものです。とても難しい研究なので、文献研究と企業情報収集するために頂いた奨学金を使って、指導教授の大島先生と一緒に、パナソニックの本社と松下幸之助歴史館と松下資料館などへも見学に行きました。そこでは担当責任者から松下に関する貴重な資料を頂き、また写真にも収めました。その甲斐あって、研究に対して方向性や方法論が明確になりました。

大島先生はとてもいい先生です。いろいろ知識を教えるだけでなく、困った時もいつも助けてくれるので心から感謝致します。

私自身今後の重要な課題として考えているのは、経営理念や企業文化という概念を中国企業に導入するための研究ができないだろうか、という点です。

今、中国の数多くの中小企業において企業文化は未成熟であり、地域住民からの評価も低いままで。それは中国製品の品質問題や偽物（コピー商品）問題などが、多くの原因のうちの一つだと考えられています。中国製品の品質を改善し更により良い経営環境を作るために、創業者の唱えた社会貢献の思想や企業を公器とする企業文化の概念を中国の中小企業に導入することに大きな意義があるように思われます。その際今回研究したパナソニックの企業文化は大いに役立つものと考えます。

企業文化の発展とその根底に流れる世界の平和と国民生活の資質向上と安心・安全への強い思いによって経済

成長の更なる発展が可能になると考えられるからです。

ロータリーの奨学金は私の生活を支えて下さいましたが、ロータリーの「奉仕を通じて平和を」の精神はこれから私の人生の指針としたいと思っております。

今後、日本で学び経験してきたことを自分の人生の糧として夢を叶えるために頑張っております。

最後になりますが、厳しい状況が続いているようですが、中日友好のために、私は両国の橋渡しの一人として日本の事、日本人の事、そしてお世話をさせて頂いた日本の皆様に恩返しするために、これからも精一杯努力することをお約束して私の感謝の言葉とさせていただきます。

最後に、ロータリーの今後のますますの発展を心よりお祈りします。



■張 詩玉(ちょう しぎょく)さんの故郷  
中国 瀋陽について

瀋陽は中国の東北部にある人口700万人のとても大きな街で、故宮や城壁などの文化遺産があります。石炭や鉄鉱石、油田などの自然資源が豊富です。塩味のヒツジ鍋などの料理がおいしくてショッピングもできるので観光地としてもお勧めです。中部国際空港より直行便も出ていますので、機会がございましたら張さんの故郷へも是非お出かけ下さい。

## ニコボックス

水野 茂生君(名古屋東RC)

星ヶ丘テラス10周年を迎えました。  
会員の皆様に案内状を送らせて頂きます

小林 英毅

WBC日本代表 順調ですね  
3連覇可能かも?

小山 雅弘

我家の早咲きの桜がやっと開花しました。  
鶯の鳴き声も聞きました。春デス!

宮尾 紘司

本日早退します

鈴木 聖三

米山奨学生 張さんの最終日です。  
宜しくお祈りします。

渡邊 源市

張さん中国でのご活躍を御祈念申し上げます。  
なごやシティマラソン練習なしでしたが10km  
走破できました。来年も頑張ります。

萩原喜代子

林 正路

池森 由幸

伊藤 健文

川端 圭

近藤 和幸

三好 親

大口 弘和

太田 和孝

佐久間良治

笹野 義春

鈴木 理之

竹内 克豊

竹内 眞三

谷口 優

舍人 経昭

吉田 玄

インターアクトクラブの皆さん、張 詩玉さん  
御卒業おめでとうございます

合計 51,000 円



## お知らせ

### 「東日本大震災チャリティコンサート2013」

名古屋地区ロータリークラブ合唱連合会による  
東日本大震災チャリティコンサートが今年も開催  
されます

日時 : 平成25年5月9日(木)  
開演 : 午後6時30分(午後6時開場)  
会場 : 日本特殊陶業市民会館ビレッジホール  
(旧:名古屋市民会館中ホール)  
入場料 : 無料 要整理券  
1,000円の義援金にご賛同下さい  
連絡先 : 名古屋大須RC

次回例会 平成25年 3月26日(火) 3階 錦の間

友愛の日